

100周年記念拡大東京大会NEXT100プロジェクト

これからの東北復興支援を考えるワークショップ Vol.1

世界へ繋ぐ ソフィアンたちの東北復興支援

2013年10月19日(土)14:40~16:20 10号館講堂

1. 瓦礫の長城プロジェクトの紹介

細川護熙氏(63法法)が中心となって活動する「ガレキを活かす森の長城プロジェクト」とそれを支援するソフィア会の活動を紹介します。

2. ドキュメンタリー映画「311:ここに生きる in the moment」上映

監督 我謝 京子 (87外西)

東日本大震災の被災地に生きる人々、特に女性たちの姿・ところに迫るドキュメンタリー作品として、国内外の映画祭や上映会で多くの賞賛と共感を得ています。すでに、6カ国語以上の字幕版が制作され、震災後2年半の経った現在も世界各地での上映が続いています。

我謝さんは「被災を風化させないためにも10年撮り続け記録したい」との熱い思いから、続編製作へ向け、現地取材を帰国の度に精力的に進めています。

3. トークセッション 「海を越えてこそ見えてくること - 東北被災者に寄り添う思いを今、あらたに」

ゲスト：田中 幸子(82外仏) × 我謝 京子(87外西) 司会：内藤 敬介(89外英)

海外を拠点としながら、東北被災者支援に取り組む二人のソフィアンをゲストに迎えます。被災から2年半、それぞれに阪神淡路大震災、NY911の被災を克服してきた経験者として、東北被災者支援を通じて感じていること、そして「これから」へ繋げて行く思いを我謝さんによるスペシャル映像も交えながら語って頂きます。

それぞれの東北被災者支援の活動は、海を越え世界へと広がり、あらたなソフィアンたちの繋がりとお出合いの輪も生み出しています。



田中 幸子

Sachiko Tanaka

82年フランス語学科卒。89年上智大学外国語学部講師に。その後、助教授、教授を経て、07年から09年までフランス語学科長。09年に退任したのち、11年より名誉教授。
著書に『Eメールのフランス語』『フランス語語彙をひろげる7つのテクニック』(白水社)など。執筆活動の傍ら、東日本大震災の被災者支援を応援する「makenaizone」のメンバーとして精力的に活動。ソフィア・コミュニケーション・サービス ホームページ「あの人に会いたい 第9回」ハインタービュー記事掲載。
アイルランド在住。



我謝 京子

Kyoko Gasha

87年イスパニア語学科卒。テレビ東京の報道記者を経て、01年に渡米。現在、ライター社のアンカー&シニアプロデューサー。09年ドキュメンタリー映画「母の道、娘の選択」を完成。第22回東京国際女性映画祭での上映、10年NY国際インデペンデント映画祭観客賞、最優秀文化ドキュメンタリー賞。11年ドキュメンタリー映画「3.11:ここに生きる」を完成。第24回東京国際女性映画祭でのワールドプレミア、その後取材を続け12年3月に第二弾を完成。これまでに日本、台湾、韓国、インド、カナダ、フランス、アメリカ、イタリア、スペイン各地の映画祭などで上映される。12年 マスコミソフィア会コムソフィア賞受賞。
ニューヨーク在住、ニューヨークソフィア会会員。

※このワークショップへの参加には事前申込が必要です。ソフィア会ホームページ「100周年記念拡大東京大会」からエントリー下さい。